

7月24日 年間第 17 主日

イエスのように祈る

ルカによる福音書 11 章 1～13 節

¹イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください」と言った。²そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。

『父よ、

御名が崇められますように。

御国が来ますように。

³わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。

⁴わたしたちの罪を赦してください、

わたしたちも自分に負い目のある人を

皆赦しますから。

わたしたちを誘惑に遭わせないでください。』

⁵また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいる、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。』⁶旅行中の友達がわたしのところに立ち寄ったが、何も出すものがないのです。』⁷すると、その人は家の中から答えるにちがない。『面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません。』⁸しかし、言うておく。その人は、友達だからということでは起きて何か与えるようなことはなくても、しつように頼めば、起きて来て必要なものは何でも与えるであろう。⁹そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。¹⁰だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。¹¹あなたがたの中に、魚を欲しがると子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。¹²また、卵を欲しがると、さそりを与える父親がいるだろうか。¹³このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

他の朗読：創世記 18:20～32 詩編 138:1～3, 6～8 コロサイ 2:12～14

Lectio …読む

今日の教えの中心は祈りです。弟子たちは自分たちの祈りが未熟であると感じ、イエスに指導を願います。主の祈りは二つのバリエーションがあり、これはルカによる福音書からのもので、もうひとつはマタイによる福音書にあります (マタイ 6 章 9～13 節)。マタイによる福音書の方が長く、典礼に使われているのでキリスト者に良く知られています。

イエスの祈りについての説明は短く、簡単なものです。イエスが何よりもまず弟子たちに理解してほしいのは、父と子の関係性です。

神の神聖さを認識しながら、神を私たちの父として認め敬うことが第一歩です。次に、御国の支配が到来するように祈るべきです。それから重要なことは、例えば日毎の糧、私たちの罪の赦しと誘惑から守られること、などを願っても良いでしょう。

イエスはこの言葉通りに祈ることだけを私たちに求めているわけではありません。むしろこの言葉は骨組みのようなもので、私たちが何を祈るべきかを教えてくれる道標なのです。

条件がつけられているものは、赦しだけです。私たちは自分に負い目のある人を赦さなければ、私

たち自身も赦してもらえないのです。

次にイエスは祈り続けることの大切さについて教え、父と子について語って話を締めくくります。ほとんどすべての人間の父親たちは有害なものではなく、良いものを自分の子供に与えます。まして私たちのことを完全にご存知である私たちの天の父は、私たちが必要としているものを私たちにくださるでしょう。もちろん時折、私たちが願っているものを受け取れないという結果になることもあります。それは、私たちが願っているものが私たちに害を与えると神をご存知だからです。

Meditatio …黙想する

この箇所は神について何を表しているのでしょうか。私たちがどのように神に近づいていくことを神はお望みなのでしょうか。

神があなたの父であることについて、あなたはどのように感じていますか。

赦されるために他人を赦さなければならないという条件は、あなたにどのような影響を与えているのでしょうか。

あなたにはどんな個人的な祈りの体験がありますか。あなたの祈りの助けになるように、この箇所から何を学べるのでしょうか。

Oratio …祈る

主の祈りの中のいくつかの言葉を祈ってみてください。各行を読んでから自分のことばを加えてみてください。聖霊の助けと導きを願いましょう。焦らず、時間を充分にとりましょう。

Contemplatio…観想する

今日の答唱詩編 138 編 3 節に目を留めてみましょう。

「呼び求めるわたしに答え

あなたは魂に力を与え

解き放ってくださいました。」